

回覧

2024年1月12日

千福が丘区自治会 自主防災会
会長 中村誠也 部長 長田恵子

能登半島地震を受けて 各ご家庭での備蓄のお願い

平素より自治会活動にご協力ありがとうございます。元旦に発生いたしました、能登半島地震を受けて各ご家庭へのお願いです。

今回の地震で、被災地への補給が途絶している地域が多く見受けられます。

※ご家庭で1週間食べつなぐことがで

きる量の備蓄をお願いいたします。

インスタント食品、レトルト食品、お菓子、飲料水、お米、他なんでもいいので、ローリングストックをお願いいたします。

自治会では避難時の保存食を約450食(水は約180L)の備蓄をしております。この数量は自治会館に20名の避難者を受け入れて約1週間分の最低限の量に該当いたします。

裾野市でも小学校に備蓄がありますが、限られた量です。

この大規模災害で、数日経過し、孤立集落への物資補給が課題となっております。道路が寸断されて物資と救援が届いていない状況が多々見受けられています。

千福が丘区も主な道路が1本しかなく、土砂崩れで途絶する可能性が懸念されます。

まずは、自分が助かる準備をお願いいたします。

(水の情報)

千福が丘区は3丁目の上のほうに、取水地があります。深い井戸ですが、耐震構造で震度6強でも破損しない設計とのことです。また、自家発電があるので、水の供給はある程度持続する見込みですが、大きな揺れで地下水脈の変動等も考えられますので、備蓄の準備をお願いいたします。



※参考までに政府広報オンライン“食品備蓄のコツ”HPのQRコードを掲載いたします。 以上